

龍ヶ崎市の未来をよりよくするために／ 次期最上位計画の策定を進めています

問 企画課 ☎ 内線 364

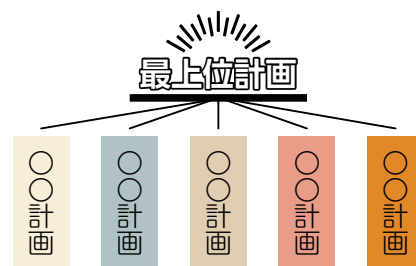
これまで龍ヶ崎市では、まちづくりを進める上で最も上位にあたる計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に基づき、さまざまな施策や事業を進めてきました。

その計画の期間が満了となることから、新たな最上位の計画の策定を進めています。ここでは、これまで進めてきた次期最上位計画の策定に向けた取り組みを紹介します。

「最上位計画」って何？

「交通計画」「福祉計画」「スポーツ推進計画」など、数ある計画の最も上に位置付けられるのが**最上位計画**です。

最上位計画では、今後のまちづくりにおける大きな方向性や目標、事業の方針などが位置付けられます。これらに基づき個々の事業計画が定められ、さまざまな事業が進められていきます。



次期最上位計画の計画期間は8年

現在の最上位計画

～令和4年12月※

計画期間 **5年**

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市民生活への影響などを考慮し、計画期間を令和4年3月までから9カ月延長

計画期間の見直しを行います!!

次期最上位計画

令和5年1月～

計画期間 **8年**

前期
4年

後期
4年

中間年度に見直し

- 人口減少や少子化・高齢化の著しい進行
- 中長期的な将来を見通した政策的取り組みの必要性
- 最上位計画への市長マニフェストの反映

ここで一息



クイズ・ザ・龍ヶ崎市

令和3年4月～5月に行った市民アンケートの結果で、最も多く選ばれた「龍ヶ崎市の良いところ、好きなところ」はどんなところでしょうか？

A
日常生活が便利

B
治安が良い

C
豊かな自然



←正解は3ページへ

皆さんの思う「龍ヶ崎市」はどんなまち?? まちづくり市民アンケート結果

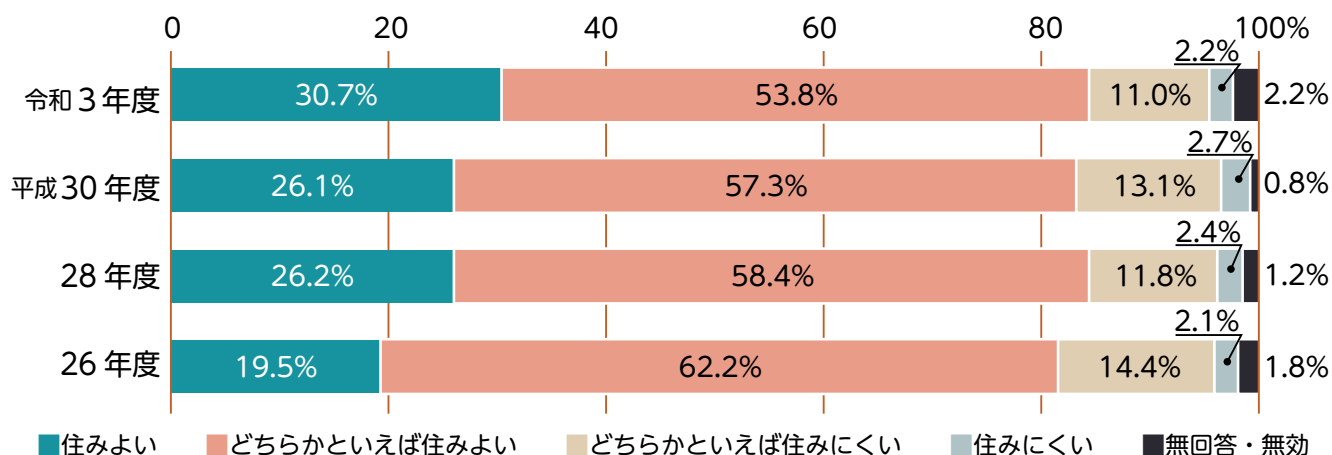
次期最上位計画の策定にあたって、市民の皆さんのまちづくりへの考えなどを伺うため、令和3年4月～5月に「まちづくり市民アンケート」を実施しました。結果をお知らせします。

■ アンケートの概要

- ▶実施時期：令和3年4月20日～5月19日
- ▶対象者：市内在住の18歳以上・4,000人（無作為抽出）
- ▶回収数：1,530人

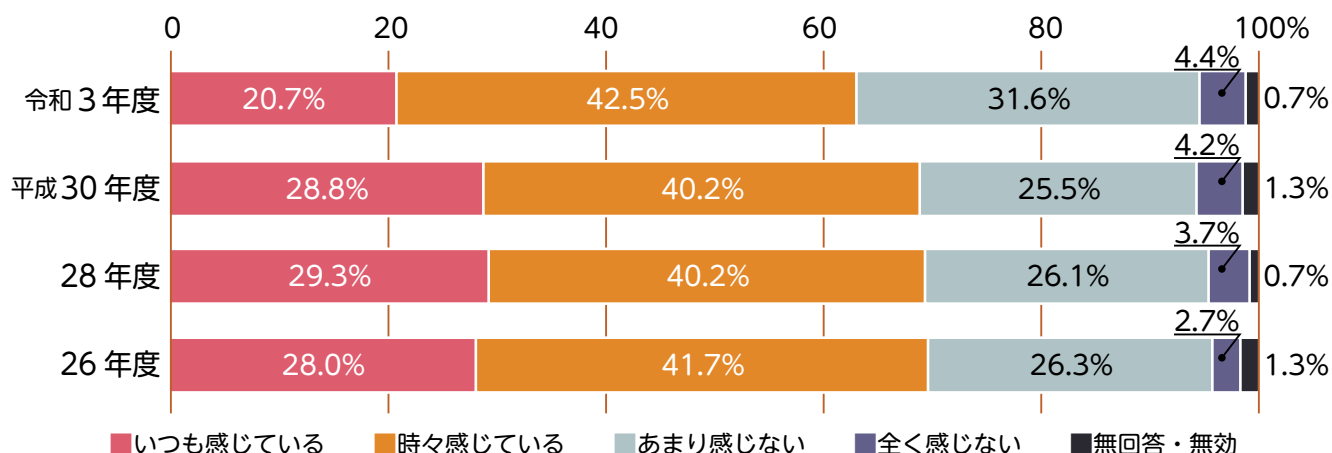
グラフの数値は
小数点第2位以下を
四捨五入しています

📍 龍ヶ崎市の住み心地はどうか？



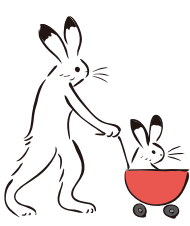
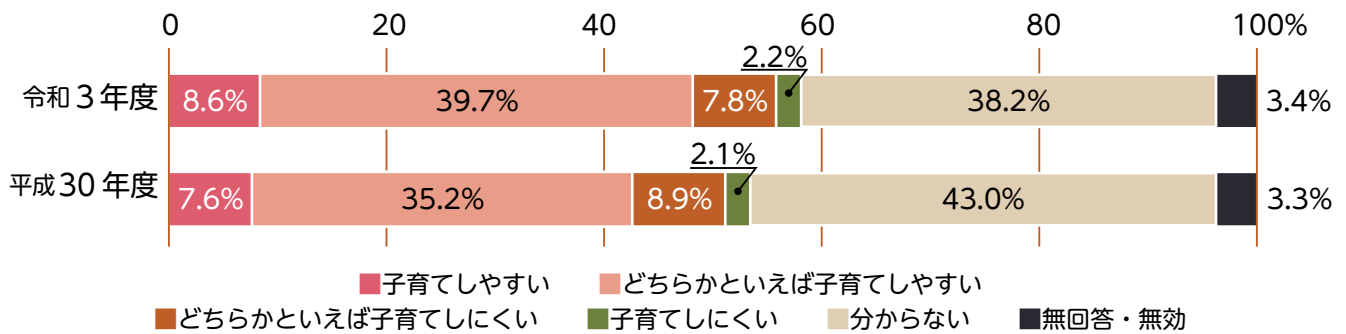
「どちらかといえば住みよい」「住みよい」と答えた方が80%を超えたほか、「住みよい」と答えた方が前回よりも4ポイント以上増加しています。
また、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方も若干ではありますが低下しており、当市をより住みよいと感じてくれる方が増加した結果となりました。
今後は、より多くの方に住みよいと感じてもらえるよう要因を分析し、住みにくさを減少・軽減させていく必要があります。

📍 龍ヶ崎市に愛着を感じていますか？



「いつも感じている」「時々感じている」と答えた方が60%以上いる一方で、平成30年度と比較すると「あまり感じない」「全く感じない」という方の割合も増えています。
より多くの方に愛着を感じてもらえるよう、魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

Q 龍ケ崎市は子育てしやすいまちだと思いますか？

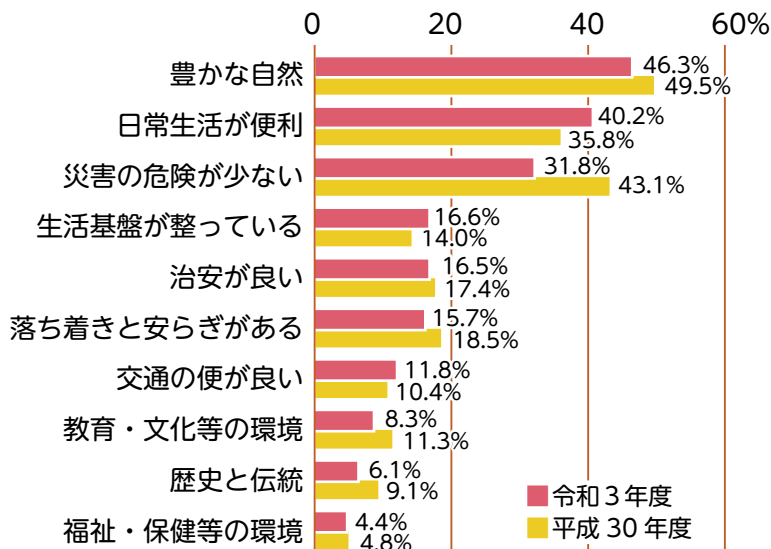


「■分からない」と答えた方が40%近くいるものの、「■子育てしやすい」「■どちらかといえば子育てしやすい」と答えた方は、「■子育てしにくい」「■どちらかといえば子育てしにくい」と答えた方の4倍以上。子育てしやすいと感じている方が多くいることがうかがえます。

「子育て環境日本一」を掲げる龍ケ崎市では、より多くの方に子育てしやすいと思ってもらえるように取り組んでいきます！

1ページの
クイズの答えは
こちら！

Q 龍ケ崎市の良いところ、好きなところはなんですか？（3つまで）



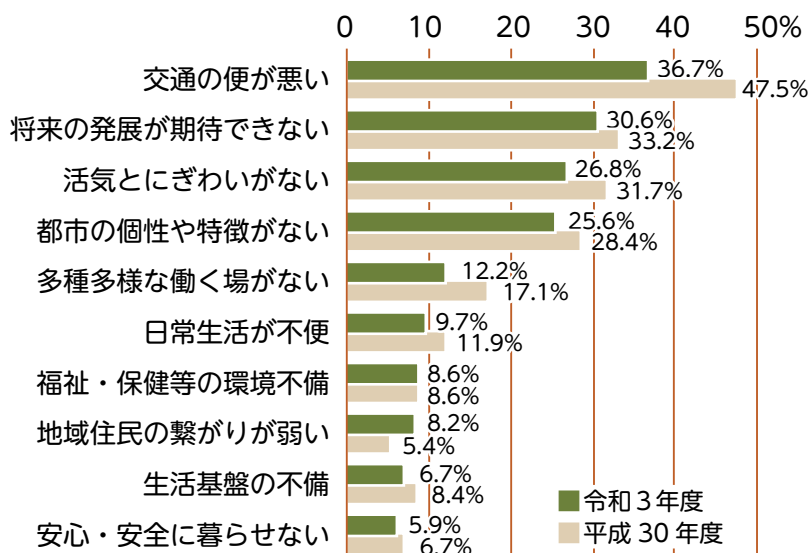
「豊かな自然」「日常生活が便利」「災害の危険が少ない」は前回に続きトップ3を維持しています。

その一方で、「豊かな自然」「災害の危険が少ない」の2項目は、前回よりも数値が下がってしまいました。

新型コロナの影響による自然と触れ合う機会の減少や、全国的に発生した気象災害などが影響を与えたのかもしれませんが。



Q 龍ケ崎市の物足りないところ、嫌いなところはどこですか？（3つまで）



「交通の便が悪い」が最も高く、続いて「将来の発展性」や「活気とにぎわい」があげられています。

「交通の便」は、前回に続き最も高い割合でしたが、令和元年9月のコミュニティバス再編の影響もあってか、10ポイント以上数値を下げています。また、「将来の発展性」や「活気とにぎわい」についても前回同様高い割合で選ばれており、課題解決に向けた具体的な取り組みが求められています。

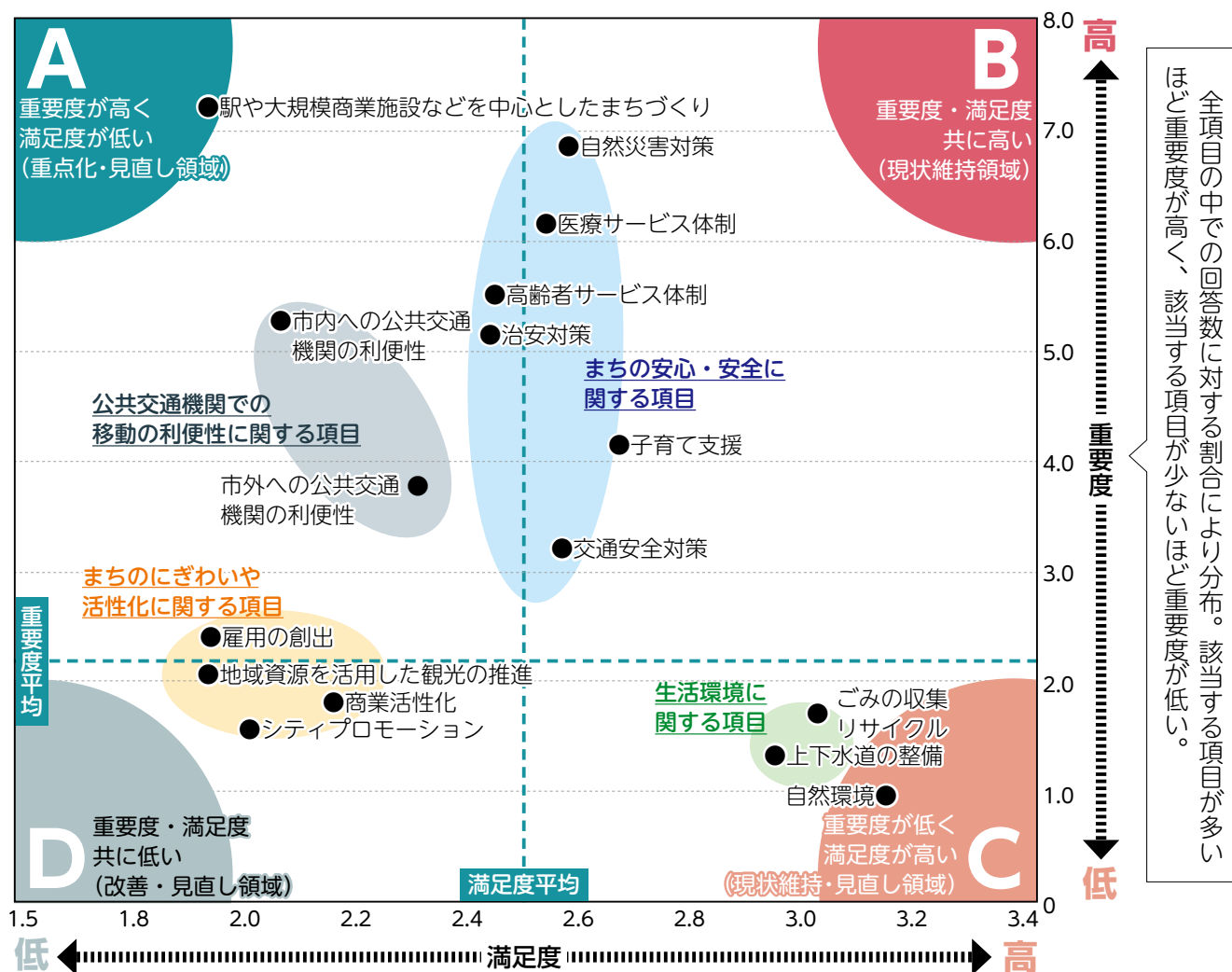


市が取り組んでいる施策の満足度・重要度

市が取り組んでいる施策（45 項目）の満足度と重要度を点数化し、満足度を X 軸（横軸）、重要度を Y 軸（縦軸）に落とし込んだグラフを作成しました。

満足度と重要度をグラフ上に示すことで、各施策がどの領域に位置するかを把握し、特徴の把握や重点的に取り組む施策を検討する際の参考として活用します。

ここでは特徴や傾向が見られた主な施策を紹介します。



「満足」「やや満足」「分からない」「やや不満」「不満」の結果を基にポイント化して分布。ポイントが高いほど満足度が高く、ポイントが低いほど満足度が低い。

- **A 重点化・見直し領域**では、「駅や大規模商業施設などを中心としたまちづくり」が最も重要度が高い結果となりました。次いで、市内外への公共交通の移動の利便性に関する項目があげられています。
- 重要度が高く、満足度が平均的な項目として、「自然災害対策」や「治安対策」など、**まちの安心・安全に関する項目**が多くあげられています。
- 重要度が平均程度で、満足度の低い項目として「雇用の創出」や「観光の推進」など、**まちのにぎわいや活性化に関する項目**があげられています。
- **C 現状維持・見直し領域**では、「自然環境」が最も満足度が高い結果となっており、次いで**生活環境に関する項目**があげられています。

JR 龍ヶ崎市駅や大規模商業施設など、拠点となる施設の周辺のにぎわいの創出や、市全域での公共交通機関の利便性向上に関しては、まだまだ課題が多い状況です。

まちの安全・安心に関する項目は、いわゆる「備え」に当たるものです。災害発生時の対応や安全な交通環境の確保など、皆さんが安心して生活を送れるよう、引き続きしっかりと備えていく必要があります。



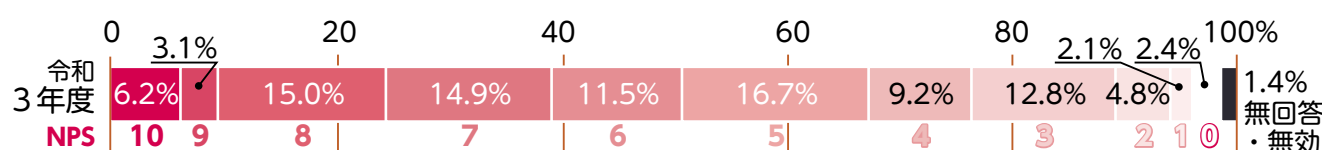
「NPS」で龍ヶ崎市を見てみよう！

NPS は、ネットプロモータースコア (Net Promoter Score) の略で、物事の「おすすめ度」を測る指標で、0～10 の 11 段階で評価を行います。

- 10～8 と答えた方は、非常に高い関心・満足度を示しており、周りの方にもお勧めしてくれるような方たちです
- 7～6 と答えた方は、積極的な関心・満足を示していない、いわゆる「どちらでもない」という方たちです。何かをきっかけに他の考えに移ってしまう可能性があります
- 5 以下と答えた方は、満足度や意欲が低く、ネガティブな印象を持っています

NPS に基づいて実施したアンケート結果

Q 龍ヶ崎市に対する『自分のまち』という愛着は、数値に表すとどの程度ですか？



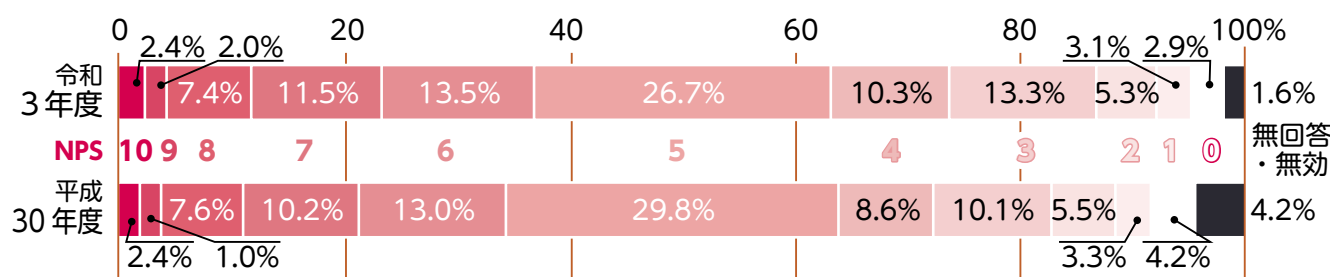
2 ページのアンケートでは、愛着を「いつも感じている」「時々感じている」と答えた方が 60% 以上でしたが、この 10 段階調査の数値で表すと、周りの方にもアピールできるような愛着を感じている方（10～8 と答えた方）は、全体で 25% 程度と、割合として高くない結果となりました。

また、愛着を「あまり感じない」「全く感じない」と答えた方は 35% 程度でしたが、この調査では 5 以下と回答した方が 50% 程度と、高い割合を示しているのが分かります。

感覚として一定の愛着は感じるものの、「そこまでではない」「周りの方におススメするほどではない」という方が多い結果になっています。よりよい龍ヶ崎市の未来に繋げていくためにも、愛着を感じてくれている方々が、なぜ愛着を感じてくれているのか、どうしたらその愛着が強くなるか、またどうしたら愛着を感じてくれる人が増えるかを、引き続き考えていかなくてははいけません。



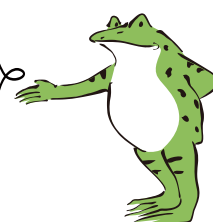
Q 龍ヶ崎市の魅力を周りの方に薦めたい気持ちはどれくらいですか？



愛着に関するアンケート結果では、25% 程度の方が強い愛着を感じてくれているという結果が出ましたが、「龍ヶ崎市をおススメしたい！」と思ってくれている方（10～8 と答えた方）は 12% 程度で、愛着の強さとおススメしたい気持ちは必ずしもイコールではないという結果になりました。

その一方で、愛着を感じない方の割合と、「あまりおススメしたくない」と思っている（5 以下と答えた）方の割合はどちらも 60% を超える結果となりました。

この項目では、平成 30 年度と比較すると、6 以上と答えてくれた方の割合は増加しています。龍ヶ崎市を周りの方におススメしていただくには、市民の皆さんと協力して、頑張っていきたいといけません。



もしもあなたが「市長」だったら？ まちづくり市民ワークショップ

「もし皆さんが龍ヶ崎市長だったら、どんなまちにしていきたいか？」をテーマに、どうしたら龍ヶ崎市がよりよいまちになるかを市民の皆さんで話し合い、まちの方向性や施策をご提案いただく「市民ワークショップ」を、6月26日に開催しました。

皆さんからご提案いただいた内容の一部を紹介します。



グループAのテーマ
「龍ヶ崎に住んでみたい、行ってみたい」と思えるまちへ

重点施策

観光・交流

▼活用できる資源

- 竜鉄
- コロッケ
- うなぎ
- クライミング
- 海も山もそこそこ近い
- 牛久沼
- トマト
- 森林公園
- 飛行場

▼課題

- 移動手段・市民の興味関心
- 外国人を呼び込む
- 分かりやすい案内
- レンタサイクル
- 突出したものをつくる



取り組み

- 気軽に集まれる場、立ち寄れる場を作る
- アグリツーリズム、ソロキャンプなどの推進
- サイクリングロードの充実
- 和を感じる体験や農業体験
- 友達を呼べるまちに

グループBのテーマ
「龍ヶ崎で子育てがしたい」と思えるまちへ

重点施策

医療が突出したまち

▼活用できる資源

- さんさん館
- 老人ホーム
- 訪問看護ステーション
- 子育て経験のある看護師さん
- 済生会病院
- 流通経済大学

▼課題

- 人材の活用
- 税収の確保
- 親が子どもを預ける場
- コミュニティセンターへの回診
- ホームドクターの充実



取り組み

- 病院になるべくかからない健康づくりを推進する
- カウンセリング相談の充実
- 困っている方への声かけ
- 保護者向け講座（予防医療・応急処置など）

グループCのテーマ
「人がつながり、住みやすい」と思えるまちへ

重点施策

地域のコミュニティと安心・定住

▼活用できる資源

- 大学生
- 元気なシニア世代の皆さん
- コミュニティセンター
- 自治会

▼課題

- ニュータウンや若い世代の住民のつながりが希薄
- コミュニティを望まない人
- 人材のリストアップ

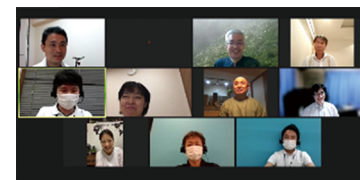


取り組み

- 父親世代の地域活動への参加促進
- 「親切」を意識する
- 親戚付き合い体験
- 地域活動をしたい人をつなぐ場を作る
- 地域の人と年齢を超えたつながり（野菜作りを教えるなど）

まちづくり市民オンラインワークショップ

次期最上位計画の策定に向け、より多くの皆さんからご意見やご提案をいただきたい！と思っていたところ、新型コロナウイルス感染症の拡大により対面での意見交換は難しい状況に…。それならオンラインでやってみよう！ということで、オンラインでワークショップを行いました。



開催日	テーマ	あげられたキーワード
7月29日(木)	「龍ヶ崎に住んでみたい」と思えるまちへ	公共交通の充実、ターゲットを絞った施策、活気、交流できる場、空き施設の利用、強みを伸ばす、母親をターゲットになど
8月1日(日)	「龍ヶ崎で子育てがしたい」と思えるまちへ	病院などが入った複合的商業施設、土地も家賃も安い、子どもたちが移動しやすいまち、たつのこやまをアピール、親世代の負担軽減など
8月3日(火)	SDGsの実現に向けて私たちができること	規格外の野菜の活用、ゴミに対する意識向上、小中学生向けワークショップ、自動車の利用を控える、10年後より未来を意識するなど
8月7日(土)	居心地のよい「新保健福祉施設」とするために	明るい雰囲気、ユニバーサルデザイン、子どもと母親が使いやすい環境、どんな建物かではなくそこで何ができるかが大切など

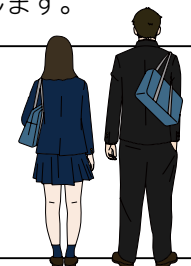
若い世代の声を聞いてみたい！ということで… 高校生アンケートを実施しました！

市内の高等学校4校を対象に、当市の住み心地や好きなところ、もし皆さんが市長だったらどんなまちにしたいか？などを調査しました。

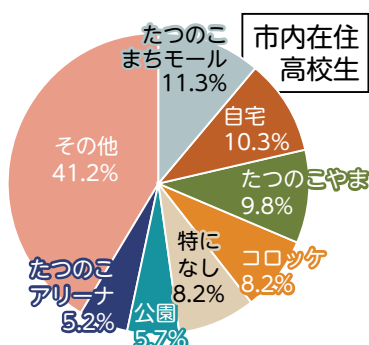
「市内在住者」と「市外在住者」を比較しながら、アンケート結果の一部を紹介します。

■アンケートの概要

- ▶対象校：県立竜ヶ崎第一高等学校、県立竜ヶ崎第二高等学校
県立竜ヶ崎南高等学校、愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校
- ▶対象者：各校2・3年生／標本数合計 1,063 票
- ▶回答数：467 票

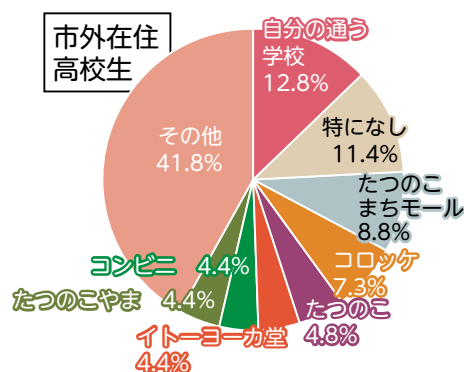


Q 龍ヶ崎市のお気に入りは何ですか？

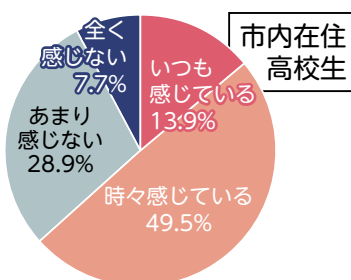


市内外問わず、龍ヶ岡地区の「たつのこやま」周辺の施設が多くあげられていました。部活動や買い物などで慣れ親しんでくれているのでしょうか。

その一方で、市外在住者は「通う高校」「特になし」の割合が高く、「学校があるから来ているだけ」になってしまっているのかもしれません。

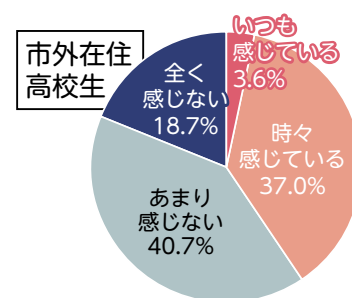


Q 龍ヶ崎市に愛着を感じていますか？



市内在住者は60%以上が愛着を感じている一方で、市外在住者は、60%近くが龍ヶ崎市に愛着を「感じない」結果となっています。

「高校に通うだけの龍ヶ崎市」ではなく、龍ヶ崎市を好きになってもらえるようなアプローチを考えていく必要があります。



Q あなたが「市長」だったら、龍ヶ崎市のまちづくりについてどのようなことを一番したいと思いますか？

- | | | | |
|---------------|-----------|------------|----------------|
| ●市民の意見を尊重する | ●義務教育の充実 | ●市民全員の幸福 | ●緑を増やす |
| ●若者に人気の街 | ●インフラ整備 | ●医療を発達させたい | ●住民と深く関わり合いたい |
| ●今の状態を保つ | ●自然を多くしたい | ●高齢者に優しい | ●ショッピングモール建設 |
| ●平和なまちづくり | ●遊ぶ場所を増やす | ●きれいな街 | ●おしゃれなカフェを建てたい |
| ●安全安心 | ●竜鉄の活性化 | ●観光地を増やす | ●スポーツが強い街 |
| ●お祭りやイベントの活性化 | ●龍ヶ崎の環境美化 | ●いじめをなくす | ●スポーツ施設を増やす |
| ●子どもが安全に暮らせる街 | ●交通手段を増やす | ●学力向上 | ●明るい街 |
| ●商業施設の増加 | ●住みやすさ | ●災害に強い街 | ●楽しく過ごせる居場所 など |

高校生の皆さんからさまざまな提案がありました。

その中でも、交通環境の改善や商業の活性化、安全安心に関することなどが多くあげられていました。

あげられた全ての提案を進めていくことは難しいかもしれませんが、高校生をはじめとした若者の皆さんに「未来」を感じてもらえるようなまちを目指していきます。

書ききれなかったご提案やワークショップの詳細はこちらからご覧ください⇒

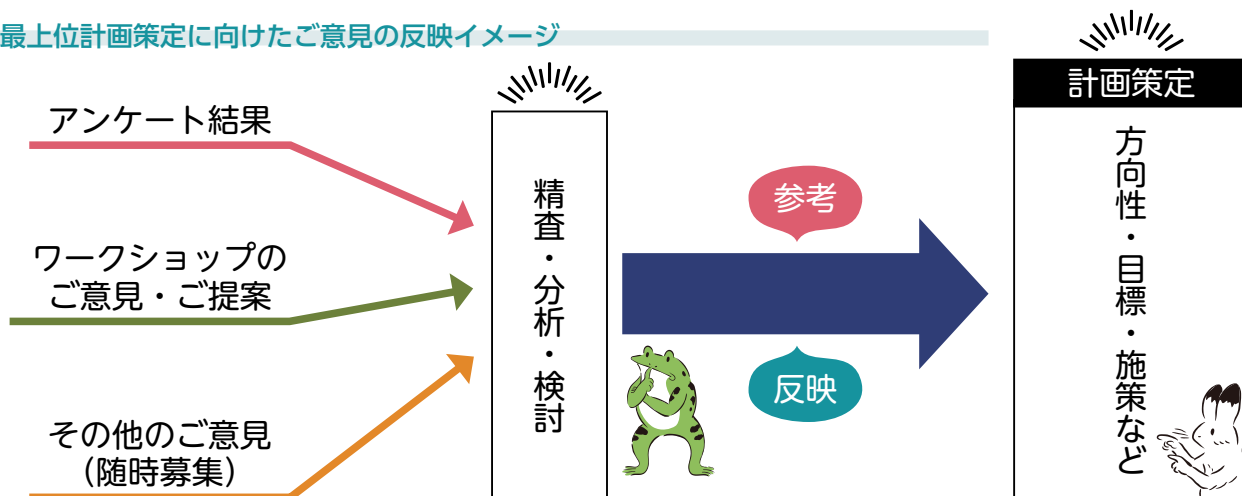


今後の次期最上位計画策定に向けて

これまで紹介した市民アンケートの結果や、各ワークショップでいただいたご意見・ご提案などは、今後、次期最上位計画の策定を進めていく中で、まちとして目指すべき方向性や目標・施策や事業などの具体的な内容の検討を進める際の参考として活用させていただきます。

皆さんと一緒によりよい龍ケ崎市を作っていきたいと考えています。

次期最上位計画策定に向けたご意見の反映イメージ



次期最上位計画策定に向けたご意見やご提案を募集しています！

次期最上位計画の策定に向け、皆さんからの「こんなまちにしてほしい！」「こんな事業を進めればもっとよいまちになる！」といったご意見やご提案を、市公式 HP で募集しています。

どのような内容でも結構ですので、よりよい龍ケ崎市のため、よりよい未来のため、ご協力をお願いします！



ご意見などの応募方法

インターネットで「龍ケ崎市 次期最上位計画策定関連」と検索、または二次元コードから「いばらき電子申請・届出サービス」にアクセス。



／ご応募お待ちしております！／

龍ケ崎のみらい創生▶高校生政策アイデアコンテスト

明るい龍ケ崎市の未来のため、未来を担う高校生の皆さんから斬新かつ独創的な政策アイデアをいただきたいと考えています。すてきなご提案をいただいたチームは、【豪華景品】がもらえるかも!? 積極的なご応募、お待ちしております！

- テーマ：10年後に私たちが住みたい龍ケ崎とは～そのために今、どんな施策が必要だろう～
- 参加対象：市内高等学校に通う高校生または市内在住の高校生2～5人のチーム
- 募集期間：令和4年1月31日（月）まで

応募方法などの
詳細は
こちらから！

